

6-red ルールについて

NPO 法人 日本スヌーカー連盟

本選考会の 6-red のルールを下記のとおり定めます。但し、レフリーはつかず、プレーヤー同士のセルフジャッジとなります。各選手ともスポーツマンシップに則りトラブルの無いようにゲーム進行をお願いします。ゲーム進行の上で、ルール等にまつわる不測の状況が発生した場合には本選考会事務局が介入し協議検討いたします。選手は事務局の決定に従ってください。

6-redのルール

1. ファール&ミスのルールは無し

2. ファールを犯した場合

(a)レフリーは直ちに「ファール」を宣言する。

続いてそのファールの結果、得点差にスヌーカーが必要ない場合には「フリーテーブル」を宣言する。

※具体的な例

- ・プレーヤーA: ファール
- ・レフリー: 直ちに「ファール」の宣言、さらにプレーヤーB が得点差においてスヌーカーが必要なければ「フリーテーブル」のコール
- ・プレーヤーA の残りの配置がスヌーカー状態であった場合、レフリーはさらに「フリーボール」のコールを行う。

(b)次のプレーヤーは下記3つ方法より選択する

- (i) 現状の位置からそのままプレーを行う
- (ii) 相手プレーヤーに現状の位置からもう一度撞くように依頼する(プレーアゲイン)
- (iii) 点差でスヌーカーが必要ない場合には、キューボールをテーブル上の好きな位置に置いてプレーする (フリーテーブル)

※フリーボールが宣言された場合の対処方法

- ・レフリーにより「フリーテーブル」の後に「フリーボール」のコールがされた場合プレイヤーBが (b) の (i) の選択、すなわちキューボールの位置を現状のまま撞く場合には当然、カラーボールをノミネートする。
- ・プレイヤーBが「フリーテーブル」を選択した場合、すなわちボールインハンドでキューボールの場所を変更した場合、レフリーが宣言した「フリーボール」は消滅する。
但し、テーブルのいかなる場所からもボールオンがスヌーカー状態の場合にはレフリーは再度「フリーボール」を宣言する。

3. ノミネートしたボールを使ってスヌーカーをかけることを禁止する。

※故意のファールについて

故意のファールは可能です。

但し、当然のことながらマナーを逸脱した行為はNGです。

中にはマナーとは？と尋ねるプレイヤーもいると思いますが、通常のプレーから逸脱した行為を故意に行なうことと解釈してください。

マナーとはルール以前の問題です。

一応例に上げると、故意にキューボールを手で持つ、故意にキューチップ以外の部分で撞く、戦略も何も無く、フレームを放棄したような乱雑なショットを行なうなどが挙げられます。

そのような行為があった場合、レフリーは注意若しくは警告をいたします。

繰り返されるようであれば、失格とすることができます。

以上